

放送日 平成29年8月1日(火)  
担当者 健康推進課 佐藤 由香

おはようございます。4月に採用されました、健康推進課の佐藤です。

私が所属する健康推進課は、3つの係に分かれています。主にがん検診、予防接種を担当する健康推進担当、特定健診に関わること、高齢者を対象とした介護予防を担当する特定健診・介護予防担当、そして妊婦さんから乳幼児に関わる健診や教室、成人の方を対象とした教室などを担当する保健指導担当です。

健康推進課は、このように3つの係がありますので、毎日窓口に来られる市民の方も妊婦さんから高齢者の方まで様々な年代の方がいらっしゃいます。各係で対象となる方は違いますが、共通していることは、健康に関するということです。

みなさんは、ご自分の健康管理はされていますか？年に1度の健康診断、人間ドック、各検診、受診していますか？自分だけは大丈夫、健康には自信があると過信されている方はいませんか？

私たちが日々生活する上で欠かせないのは健康ではないでしょうか。私たちが日々職務につけることも、休日を楽しめることも健康であればこそです。

保健師は、健康障害が起こる前の予防の段階で関わることができる仕事です。また、ゆりかごから墓場までと言われるように、すべての年代の方に関わることができます。一人でも多くの市民の方が少しでも長く、健康でいられるように、市民の方に寄り添うことを忘れずに、保健師として市職員として業務に取り組んでいきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月2日(水)  
担当者 保険年金課 栗崎 成永

おはようございます。保険年金課の栗崎です。

入庁してから早4ヶ月が過ぎました。今日は、私が日ごろ仕事をする上で大切にしていることをお話いたします。

5月に新任職員サポーター会議が行われました。私は、会議に参加した際に、どの先輩もおっしゃっていたある言葉が気になっていました。それは「わからないことがあれば、遠慮せずに質問してほしい」ということです。確かに、言葉ではわかっているけど、先輩たちが忙しそうにしている姿を目にして、質問することを躊躇してしまうということは何度かありました。また、入庁して4ヶ月も経つのに、私はこんなにも質問して良いのだろうかと思うこともあります。しかし、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざにもあるように、わからないことをそのままにしておく、それが積み重なり、いつかミスをしてしまうのではないかと思います。また、そのミスが市民の方にも影響を及ぼしてしまうかも知れません。新任職員は知識が少ないというのは欠点であると思いますが、知らないからこそ何でも質問できる、というのは新人ならではの特権ではないかと思いました。

ただ、何でも聞くのではなく、何がわからないかを明確に伝えること、またすぐに質問するのではなく、ある程度自分で考えてから質問することを心がけたいと思っています。私が質問することで、皆さんの手を止めてしまい、ご迷惑をおかけしますが、これからもよろしくお願い致します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月3日(木)

担当者 保育課 谷口 翔平

おはようございます。子育て支援室保育課の谷口です。

4月に保育課へ配属されてから4ヶ月が経ちました。最初は与えられた仕事を覚えるのに必死で、仕事の優先順位や時間配分に気がつかう余裕もありませんでした。4ヶ月が経った今でも自分ひとりで処理できる仕事は多くはありませんが、目の前の仕事をひとつひとつ丁寧に取り組んでいきたいと思っています。

さて、ここからは私が担当している学童クラブについてお話しさせていただきます。

学童クラブは、主に日中保護者が家庭にいない小学生児童を預かる場所で、仕事と子育てを両立させるためには不可欠な制度であり、その利用は年々増えている状況です。

かく言う私も小学生の時に学童クラブを利用していました。昔ながらの遊びやレクリエーションなど、学校とは違う楽しみがあり、多くのことを経験できる場所でした。

職員としての仕事も幅広く、バス遠足などのイベントに参加したり、施設修理や白線引きなど事務作業とは離れた仕事がたくさんあります。また、保護者やいろいろな業者の方、学童クラブの指導員とのやり取りも多く、臨機応変な対応が求められる職場であるため、毎日が勉強の日々だと感じます。

今はまだ、わからないことも沢山あり、先輩や上司に負担をかけることが多いですが、教わったことをひとつずつ正確にこなしていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月4日(金)  
担当者 すみれ保育園 定岡 碧衣

おはようございます。すみれ保育園の定岡碧衣です。

私は今年4月に採用され、早4ヶ月が経ちました。保育園で働くようになってから、毎日パワフルで可愛らしい子どもたちと触れ合い、刺激を受け、子どもたちと共に成長する日々を送っております。先輩保育士の方々からは丁寧に的確なご指導をいただき、少しでも早く一人前の保育士になれるよう勉強する毎日です。

私が保育士として大切にしていきたい事が2つあります。1つ目は、子どもも大人も楽しめる保育をする事です。今はまだまだ力不足ではありますが、子どもが楽しいと思うことはもちろん、大人も楽しいと思う保育をすることで、その気持ちが子どもたちに伝わり、より楽しんでくれるのではないかと思います。2つ目は、子どもにとって安心できる環境を作ることです。保育園に来る子どもたちは一日の大半を園で過ごします。親と離れて不安を感じない子はいないと思います。そんな子どもたちにとって、少しでも安心でき、笑顔あふれる時間を過ごせるような環境を作れば、親も子も安心して保育園に通うことができるのではないかと思います。

最初にお伝えした通り、子どもたちはとてもパワフルでとても可愛いです。お散歩をしている際に地域の方々とはすれ違う時には、可愛い笑顔で元気に挨拶をします。すると、地域の方々も自然と笑顔になり、和やかな雰囲気が流れ、見ている私まで笑顔になり、心がほっこりします。挨拶はコミュニケーションの1つであり、笑顔になる瞬間を生み出す手段の1つであると私は考えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月7日(月)

担当者 庶務課 吉倉 恭兵

おはようございます。建設部庶務課新任職員の吉倉です。

私がお話しさせていただくのは、北広島市の知名度についてです。

私は、幼稚園の頃から北広島市に住み、高校卒業まで北広島市内にある学校に通い、東京で大学生生活を過ごしました。大学では各地方出身のさまざまな人たちと関わることができ、出身地についての話になると北海道は食べ物美味しく、自然があり住みやすくとても良いところというイメージをよく聞きます。しかし、残念ながら北広島市を知っている人はいませんでした。

みなさんをご存知のとおり、北広島市は北海道で4年連続住みやすさ1位です。住みやすさといいますと人によって定義が違いますが、北広島市について知らなければ評価することはできないと思います。北海道の方であれば、電車や車などで市内を通ったりすることがあり実際に目で見て知ることがあると思いますが、道外の方はきっかけがなければほとんど知る機会がありません。そのきっかけの1つになったのが日本ハムファイターズの本拠地移転誘致です。この報道後、初対面の人に地元が北海道の北広島市だと言うと、「あのファイターズの？」というような北広島市を知っている方が多くなりました。北海道の方だけではなく、「住みやすい北広島市」を全国の方に知っていただければ、人口減少傾向から人口増加にもつながってくると考えます。

小さい頃から育ててもらった北広島市で働けることに感謝しながら、北広島市の発展と知名度アップを目指し北広島市に恩返しをしていきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月8日(火)  
担当者 都市整備課 大熊 佑治

おはようございます。建設部都市整備課の大熊です。

4月に土木の技術職として入庁し、都市整備課で道路整備に係る業務を担当しています。道路と言うと、私が幼少時代に毎日のように歩いていた実家近くのとある道路の当時の状況が印象に残っています。この道路はいわゆる砂利道で、ほぼ毎日歩くのに凸凹で歩きづらいなと感じていたためか私にとってはある意味で思い出の道路となっています。その道路は数年後にアスファルトの舗装が施工され、歩きやすく、車も快適に走行出来るようになり良かったと私や家族の心が少し満たされたことも覚えています。しかし、それから10数年が経過した現在、交通量の増加や長年の使用によって舗装が著しく損傷していることから、改めて道路を整備するための工事を進めています。そして、この仕事が私の入庁後に担当する初めての業務となりました。これは上司の方々が縁のある仕事の方が良いだろうと気を遣われて担当させていただくことになったものと私は勝手に考えており、入庁してすぐに仕事へ気持ちを向けられたことは、市職員としての基礎をいち早く築くためのまたとない機会であったと前向きに捉えています。

私の経験も述べさせていただきましたが、道路を使用する方々は毎日その道路を使う、住居に近いといった状況にあればあるほど関心を示されます。つまり全ての道路が常に関心を持たれていると自覚を持つことが大事です。

まずは先輩職員の方々の背中に一日でも早く追いつき、市民の方々が安心して安全且つ快適に使用してもらえる道路を整備することを使命とし仕事に励んでまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月9日(水)  
担当者 商工業振興課 宮越 裕斗

おはようございます。経済部商工業振興課、新任職員の宮越です。

今日は、私が担当しています雇用労働の業務についてお話をさせていただきます。朝、私が一番初めに行う業務はハローワークから送られてくる日刊求人情報を各出張所などに転送する業務を行います。

一昔前までは、「就職氷河期」と呼ばれる時代が続き、新卒など新たに就職したい方々はたくさんいるけど働き口がないという現象が起きていました。現在では逆の現象が起きています。新たに採用したい事業所はたくさんあるけども、働く労働者がいないため北広島市内を含め、多くの事業所が苦しい思いをしています。

商工業振興課では、そういった北広島市内の事業所を支援するための助成金を交付する事業を行っています。

自分も現在、そのような事業に携わっていますが、自分には知識と経験がなく、事業所の方々に聞かれたときに答えられず先輩や上司に助けていただいたときが多くありました。

入庁して4か月が経ち、ある程度慣れてきた部分も出てきました。ですが、気を緩めてしまうと思いがけない失敗を起こすかもしれません。

失敗を起こさないようにこれからも引き続き、先輩や上司の方々の仕事の進め方を見て習い、自分の物にして仕事を進められるように、日々の業務を頑張っていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月10日(木)

担当者 下水道課 田野 飛翔

おはようございます。水道部下水道課の田野飛翔です。

空知郡奈井江町出身で、大学まで実家から通学していたため、実は奈井江町以外で住むのは初めてになります。

下水道課の主な業務は、下水管渠や公共樹の維持管理が主な内容で市民からの相談や要望、工事や本管接続などの立会で現場に出ることも多いため大変なことも多いですが同時にとてもやりがいを感じられます。入庁してから、約4ヶ月が経ちましたが未だに慣れないことも多く、ミスをして注意されることもあります。入庁したばかりの頃は、電話を取るのも苦手で、取ったはいいものの声が出なかったり、電話の内容が頭から抜けてしまったり、今では考えられないような電話応対をしていたと思います。振り返ると、入ったころよりは大分成長できたのかなとも思いました。

また、大学まで一人暮らしをしたことがなく実家から通っていたため、入庁し一人暮らしが始まると不安なことも多く、掃除に洗濯、料理など一通りの家事をこなしているうちに初めて親の大変さがわかりました。ここ最近は、慣れてきたためかスムーズに掃除や洗濯などができるようになりました。しかし、日が経つにつれて料理が面倒になりコンビニやスーパーの弁当が増えてきてしまったので体調を崩さないよう気をつけたいと思います。

さて、今後の目標ですが、この4ヶ月間は本当に余裕と自信がなく先輩方にも迷惑をかけてばかりいました。これから少しずつ仕事を覚えていき戦力となるよう、そして笑顔で仕事ができるよう精進していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。



放送日 平成29年8月17日(木)

担当者 農業委員会事務局 佐藤 勇輝

おはようございます。農業委員会事務局の佐藤勇輝です。新人職員として入庁して4ヶ月、日々勉強の毎日であっという間に過ぎてしまったと感じております。

5ヶ月前、私は新人職員として採用される前も、非常勤職員として勤務しておりました。内示がでる日の朝、旧第三庁舎三階の印刷機の前で、前任の武山主事と、「どこに配属されるのですかね」なんて話をしていたことも、昨日のこのように思います。

さて、農業委員会についてですが、平成28年の農業委員会等に関する法律の改正に伴い、「農地等の利用の最適化の推進」が農業委員会の最も重要な事務として位置付けられ、農業委員に加え、新たに「農地利用最適化推進委員」が設置されることとなりました。北広島市農業委員会でも7月19日の任期満了後に新制度へ移行となり、今まで12名だった農業委員が7名となり、新たに5名の農地利用最適化推進委員が設置されました。

事務局スタッフとして、総会準備、現地調査、各種証明書の発行、農業者年金と様々な業務をしておりますが、自分の知識不足、詰めの甘さを痛感し、「もっとなんとかできなかったのかな」、「失敗したな」と思うことばかりです。

私事ですが、幼い頃より続けている相撲の世界には、「負けて覚える相撲かな」という言葉があります。新人職員の今は、失敗を重ねながら仕事を覚えている時期なのかと思いますが、失敗してばかりもいられません。少しでも早く、先輩職員の皆さんのように仕事をこなせるよう、これまでの失敗が成長への糧になるよう、日々の積み重ねを大切に、業務に励んでいきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月18日(金)  
担当者 社会教育課 上井 壮輔

おはようございます。社会教育課体育担当の上井です。

私は前職があり、以前は国保連合会で医療レセプトに係る審査業務に携わっておりました。

現在所属している社会教育課の業務とは、内容も、仕事の進め方も全く異なるので、大変ではありますが日々刺激を受けております。

私が所属している、体育担当で行っている業務は、きたひろしま30kmロードレースや、スーパードッジボール等の体育事業の企画運営、指定管理者で管理している、総合体育館や、西の里ファミリー体育館などの地区体育館との連携などです。

私はまだまだ未熟ですが、このような様々な業務を通して、市民の皆さんと関わり、居場所や生きがいを作る一翼を担いたいと思っております。

そのためには、まちをよく知り、まず自分自身が体験すること。すべてはそこから始まると日々感じております。

私事ではありますが、先日、業務で担当している自然の森キャンプ場へ、プライベートでキャンプに行ってきました。家族連れのお客様で大変賑わっており、場内はとても和やかで良い雰囲気でした。そして自分が担当している業務が、どのように市民と関わっているのか、肌で感じることができ、とてもよい経験となりました。

これからも一北広島市職員として、業務内外を問わず、積極的にまちづくりに関わり、市民と一緒に体験し、考えることができる人材になっていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月21日(月)

担当者 企画課長 橋本 征紀

おはようございます。企画課長の橋本です。

本日は、本年度より、企画課で担当している業務「石狩地方開発促進期成会」について、ご紹介します。

この期成会は、石狩地域における総合開発の促進を目的に、本市を含む6市1町1村の首長で構成されており、本年度から、上野市長が会長を務めています。

期成会では、毎年、国や北海道等に対して開発予算に関する要望活動を行っており、今年は、8月9日に中央要望として、東京都において北海道選出の国会議員、財務省、国土交通省、農林水産省に要望活動を行ってきました。

当日の気温は、今年一番の暑さとなる37度。ニュースでも危険な暑さと形容され、無理のないよう過ごすよう注意を促しています。そのような過酷な状況の中、上野市長を先頭に、道路や空港、港湾など社会資本整備の必要性など、地域の実情を訴え、開発予算の獲得と各事業の計画的な推進に向けて、要望活動を行ってきました。

この活動をセレモニーにしないためにも、各事業が石狩地域、さらには北海道のポテンシャルを生かす投資であること、また、地域の成長を底上げするものであることなど、事業効果をできるだけ定量的に説明する必要があります。国とのやり取りを通して、そうした説明を地域に求めていることを強く感じたところです。

このことは、市の事業にも同じことがいえると思います。進めている事業、計画している事業がまちづくりにどのような効果をもたらすのか、市民の暮らしがどのようなになるのかなどを、しっかりと説明する必要があると、改めて考える機会となりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月22日(火)

担当者 まちづくり担当参事 熊田 仁

おはようございます。まちづくり担当参事の熊田です。今日は、組織名からはなかなか分かりにくい、私たちの業務内容についてご紹介いたします。

まちづくり担当は、今年度から新設された部署です。市のホームページで業務内容を見ると、ただ一言「まちづくり」と書いてあり、「そのまんまじゃないか」と我ながら突っ込みたくなります。

現在の主な業務としては、日本ハムファイターズボールパークの誘致、コンパクトシティの形成を目指す立地適正化計画の策定、公共施設の適正配置、空き家の解体補助などがあります。

まちづくり担当の業務は、庁内の各部署のご協力をいただきながら進めていかなければならないものが殆どです。そのため、各部署には日ごろから依頼や相談、協議などに対応してもらいながら業務を進めています。

まちづくりには、明確な模範解答はなく、我々まちづくり担当のメンバーも、見えない答えを探して思い悩むこともしばしばですが、それぞれのまちの事情や市民の思いなどを踏まえ、100点ではなくても、その時々でベターだと考えられる選択を積み重ねていくものだとは私は思っています。

また、まちづくりは、ただ施設やインフラを整備すれば良いというのではなく、教育や福祉など、あらゆる分野の施策を活用し、まさに「人々の暮らしの場」を造り上げていくものだとも考えています。

これからも、市民にとってより良い「暮らしの場」を造り上げていくため、各部署と連携を図りながら、業務を進めていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月23日(水)

担当者 政策広報課長 平澤 肇

おはようございます。政策広報課長の平澤です。

最近思ったことをお話しします。

今年、2年ぶりに趣味の登山を再開しました。

山なんて登ったって疲れるだけなのに、登ってどうするんだと訊く方もおられるかもしれませんが、自分としては、山の景色も空気も、そして疲れるのも含めて気持ちがいいから、とお答えすることになると思います。

そして、ちょっとハードな感じの登山が好きなので、体力をつけるためにジョギングも再開しました。

でもこれも、「登山のために走るなんて、まるで疲れるために疲れてるんじゃないの。」と言われそうなのですが、体力がつくと余裕ができ、気持ちよく登れて、さらに登山が楽しくなります。

そんなことで最近は、登山を楽しむための準備として、ジョギングをするよう心がけている訳ですが、これは仕事にも通じるところがあるなあ、と思っています。

仕事にも当然ですが、準備が必要です。

よく考えて、十分に準備しておいた仕事は、自信をもって進めることができ、余裕もあり、そんなときは自分でも楽しめているように感じられます。

そして、そんな風に自信をもって楽しんで仕事ができたら、それを受け取る市民の側にも、気持ち良く受け止めてもらえるのではないかと考えたりしています。

ただ、実際は十分に時間が取れなかったり、また自分の考えが甘かったりと、しっかりとした準備ができないままで終わる仕事が多いように思います。

自分の定年までの期間はまだまだしばらくありますので、残りの期間、準備を怠らないよう心掛け、楽しんで気持ち良く仕事ができるようにしたいと思っています。

また、課内の職員の皆さんにも、十分に考え、納得のいく準備をしてもらい、やはり楽しんで、気持ち良く仕事をしてもらえればうれしいな、と思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月24日(木)  
担当者 財政課長 佐藤 亮

おはようございます。財政課長の佐藤 亮です。

新庁舎に引っ越してからはや3か月が立ちました。この夏は、これまでとは違い、空調が完備された快適な職場環境のおかげで、みなさんさぞや業務がはかどったことと思います。さて、この新庁舎ですが、完成までの総費用は、約60億円を予定しています。市の一般会計の予算がだいたい200億円ですから、大変な規模です。この費用をどのようにまかなうのかというと、国などの補助金が11億円、これまで貯金してきた庁舎建設基金が12億円、市税などの一般財源が2億円、残りの35億円はいわゆる借金であるところの市債でまかなう予定となっています。総費用の約半分は借金であるわけです。

本来、その年度に使う経費は、その年度でまかなうのが原則ですので、借金と聞くとマイナスのイメージが強いと思います。ですが、庁舎などのハコ物は、数十年にわたって使用され、将来世代も恩恵を受けることから、このような費用は、借金をして返済金の支払いということで、将来の受益者にも負担してもらい「世代間の負担の公平」を図るという積極的な意義も市債にはあるのです。とはいっても、庁舎の借金返済額は、平成33年度には1億7千万にもなります。これが義務的経費として毎年黙ってかかることとなりますので、借金返済が始まると、本市の財政は確実に圧迫されていくこととなります。ですから、職員の皆さんにおかれましては、このような新庁舎にまつわる本市の財政状況をご理解の上、当然のことではございますが、どうか、より一層の経費の節減を念頭におきながら、日々の業務に当たっていただきたい旨、お願い申し上げます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月25日(金)  
担当者 都市計画課長 平川 一省

おはようございます。都市計画課長の平川です。

これから、私が職員として大切にしている事についてお話し致します。

今年の5月より新庁舎に移り、沢山の職員と顔を合わせる機会が増えているところですが、私は、職員同士の繋がりが大切だと考えています。

私が若い頃に、書類を他部署へ届けることがありましたが、知らない職員ばかりで困っていたところ、入庁と同時に加入した、バレー部の先輩が近くにいて、助けてもらった経験があります。その後、ゴルフや釣りの同好会に所属し、いろんな部署の職員と繋がりができ、知っている人がいることで、スムーズに仕事が進んだり、自分の知らない情報も聞けるなど、いい事が沢山ありました。

現在私は、市役所の海の投げ釣りをする「磯の会」に所属していますが、この会は毎年5月に瀬棚町近郊と11月にえりも町近郊の年2回、19名の会員で釣り会を開催しています。

釣り会は、金曜日の夜6時半に出発して、各グループで釣り場を選定し、翌日午後2時の集合時間まで不眠・不休で釣り場を移動しながら、魚を求め釣り歩きます。その時間のほとんどが、寒い・眠たい・疲れた・釣れない、こんな過酷な状況を耐えなければなりません。

しかし釣りが終り、宿泊施設へ集合した後は、疲れた体を温泉で癒し、楽しい表彰式と反省会で順位に関係なく、毎回盛り上がっていますが、長くは続かず、夜6時過ぎには極度の疲労と寝不足により全員就寝してしまいます。

この一泊三日、トータル40時間の釣り会は、辛い時間と楽しい時間を共有することで、参加者に強い絆や連帯感が生まれていると感じています。

このような、釣り会に限らず、繋がりが出来た者同士は、気軽に話が出来、仕事においても協力を惜しまない、そんな関係が出来ると思います。皆さんもチャレンジしてみても如何ですか。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいただく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月28日(月)

担当者 総務課長 杉山 正一

おはようございます。総務課長の杉山です。

今日は、夏休み中に印象に残ったことをお話しします。

私は、夏休みに、東海・関東地方に家族旅行に行き、その途中、神奈川県のカ崎市で開催されたサッカーJリーグコンサドーレ札幌の試合を見に行ってきました。

当日は、夕方からゲリラ豪雨に見舞われ、近くの多摩川で開催される大きな花火大会が中止になるほどでしたが、スタジアムは両チームのサポーターでほぼ満員でした。

スタジアム前の公園には屋台がずらっと並び、一緒に行った息子は、川崎市内の相撲部屋とコラボした「塩ちゃんこ」を楽しみにしていたようで、屋台に駆け寄りおいしそうに食べていました。

試合は、相手チームに2点を取られた後、試合終了10分前にコンサドーレが1点を返し、その後も最後まで攻め続けましたが、残念ながらコンサドーレは負けてしまいました。

ヒーローインタビューでは、相手チームの元日本代表中村憲剛選手が、「川崎フロンターレのサポーターはもちろん、コンサドーレのサポーターもたくさん来てくれて、雷や大雨の中でも最後まで帰らず熱い応援で素晴らしいスタジアムの雰囲気を作ってくれて、選手として本当に感謝しています」とコメントしてくれ、ずぶ濡れの中応援した甲斐があったなと思いました。

また、試合終了後、最寄り駅までの間、両チームのユニフォームを着たサポーターと一緒に歩きながら、試合を振り返ってお互いの健闘を称えあっている姿や、また次の試合もこよう、と言っている姿が印象に残りました。

今、北広島市では、北海道日本ハムファイターズのボールパーク誘致に、市民の皆さんと一緒に市を挙げて取り組んでいます。

ボールパークが実現したら、ファイターズのファンだけでなく、相手チームのファンや、試合観戦はしなくてもボールパークを目当てに訪れた方などが、駅までの帰り道、笑顔で口々にボールパークに、北広島にまた来たい、と話している様子が目に浮かんでくるようで、改めて、日々の業務に一生懸命頑張ろうと思うことができ、良い夏休みの思い出となりました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、今週も元気に頑張りましょう。



放送日 平成29年8月29日(火)

担当者 職員課長 佐藤 直人

おはようございます。職員課長の佐藤直人です。

今日は、皆さんに職員課としてお伝えしたいことがありますので、この場を借りてお話しさせていただきます。

労働安全衛生法において、事業主は労働者に対して健康診断を行うこととなっており、本市でも職員の皆さんに対して人間ドックや健康診断を実施しています。人間ドックは、共済組合員を対象としており、30代が2年に1度、40代以上の方は毎年受診することとしています。費用は、基本的に共済組合と市が負担しており、検診機関によっては一部自己負担があります。健康診断は、人間ドックの対象とはならない正職員と、短時間勤務の再任用職員や任期付職員、1年以上任用している非常勤職員の方を対象としています。費用は全額市の負担となります。今年度は10月18日(水)から20日(金)までの3日間、消防本部と夢プラザで行います。

このような機会を事業主として提供していますが、残念なことに人間ドックを受診されなかった方や職員課から何度も受診勧奨をしなければならないケースがありました。ご自身の健康はやはりご自身で守ることが基本であり、定期的に人間ドックや健康診断で自分の体の状態をチェックすることが重要です。さらに、検診で何がしかの異常があった場合には、必ず再検査を行ってください。再検査を行っていない方がいますが、少しでも早く受診することが早期発見、早期治療につながります。自分だけの体ではありません。職場への影響はもちろんのこと、家族にとっても大切な人であるということを今一度認識してほしいと思います。

ちなみに私は、10月6日に人間ドックを受診します。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいたく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月30日(水)  
担当者 行政管理課長 安田 寿文

おはようございます。行政管理課長の安田寿文です。

昨年度は、新庁舎移転に向け、公文書の新たな管理方法であるファイリングシステムを、皆様のご協力のおかげで導入することができました。今後、このファイリングシステムがしっかり定着することが大事となりますので、これまで以上にご協力をお願いします。

さて、話は変わりますが、我が家の食卓の壁には、「人生はあおいくま」と書いた紙が貼ってあります。ものまね芸人のコロツケさんが母親から贈られた言葉として、本も出版され、一時話題になったこともあり、知っている方も多いかもしれませんが、この「あおいくま」とは、「あ」は「あせるな」、「お」は「おこるな」、「い」は「いばるな」、「く」は「くさるな」、「ま」は「まけるな」の5つの言葉の頭文字をとった自分自身に言い聞かせる人生訓であります。住友銀行の頭取をしていた堀田氏が、「人生は辛抱である。短距離レースではなく、長距離レースである。青い熊であれ、いつも若々しく、たくましい熊であれ、あせってはいけない。くさってはいけない。まけてはいけない。」とよく新人社員への挨拶の際に述べていたそうです。ちなみに、私の「あおいくま」の「あ」は「あせるな」ではなく、「あきらめるな」、「お」は「おこるな」ではなく「おごるな」に変えて、今、自分の人生訓としています。今日も、朝ご飯を食べながら、壁に貼ってあるこの言葉を見て、今日も一日頑張ろうと思って仕事にきています。

皆さんも、自分を奮い立たせたり、心の支えになる人生訓が何か一つあるといいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成29年8月31日(木)

担当者 秘書課長 岡 謙一

おはようございます。総務部秘書課長の岡です。

本日で8月が終わりますが、私はこの8月に2つ、印象深いことがありました。

1つ目は生まれて初めて、大倉山のジャンプ場でサマージャンプ大会を見たことです。この大会では伊藤有希選手が135.5mのバッケンレコードで優勝したのですが、偶然にもこのシーンを見ることができました。

風にのり、鳥のように空を飛ぶ伊藤選手の姿に本当に感動しました。

2つ目は生まれて初めて、札幌競馬場で競馬のレースを見たことです。美しい馬が目の前を駆け抜ける姿は大変優雅であり、とても力強いものでした。

また、競馬場はトイレも含め大変綺麗で、子供用の遊具や美しい芝生、ポップアップテント等を張る専用スペースなど、これらの取組は、本市の交流人口の増加、イベントなどにも活用できるのではないかと考えたところであります。

自分はスポーツもギャンブルもやらないのですが、改めて「自分の知らない世界がたくさんあるんだ」と感じた8月でした。

そして、明日9月1日は映画の日です。

自分は映画を見るのが好きで、月に1回位のペースで映画館に足を運んでおります。

その中で「この世界の片隅に」という日本のアニメーション映画が非常に印象に残っております。

映画館で見た方、テレビや雑誌等で名前は聞いたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが。

昭和20年、戦争中の広島県・呉市を題材にした映画です。

この映画が、9月3日(日)14時から平和の灯記念事業のひとつとして芸術文化ホールで上映されます。

年齢や性別に関係なく見ることができる、楽しくもせつない映画ですので、多くの方に足を運んでいただければと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。